

サポート通信

平成26年6月23日 発行
広島市立広島特別支援学校

No. 7



特別支援教育センター校からの情報発信・ネットワーク

学校長挨拶

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾秀行

サポート通信を御覧いただきありがとうございます。本年度の児童生徒数は、昨年度より62名増え457名となりました。多くの児童生徒、保護者の皆様に本校を選んでいただき大変嬉しく思っています。児童生徒の自立と社会参加に向け、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導と支援に一層の努力をしております。

さて、本校のビジョンは、「家庭や地域社会から信頼され、本市の特別支援教育のセンターとしての役割を果たす学校」です。この実現に向け、「平成27年度第54回全国学校体育研究大会ひろしま大会」での授業公開・研究発表（本年度プレ大会開催）や「平成25・26年度生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の実施などに取り組んでいます。

また、相談機能を充実するための施設である「サポートセンター」の利用や夏季休業中に開催する公開研修会、教育相談会、教材・教具展示会、教材・教具・備品の貸し出しなどを行い、本市の特別支援教育のセンター的機能を発揮していきます。

本年度も多くの方々に、本校のセンター的機能を活用していただきますようお願いいたします。

サポートセンターより

本校サポートセンターでは、今年度も以下のような支援を提供させていただきますので、御活用ください。

◆ 保護者・本人への支援（来校相談）

子どもの特性や学び方の特徴を把握・整理し、保護者や本人に具体的な支援や学習方法についてアドバイスします。

◆ 学校への支援（巡回相談）

特別な教育的ニーズのある子どもたちの特性の理解、支援のあり方等について、授業参観・教育相談を通して情報提供します。

本校ホームページのリーフレットを御参照ください。

◆ 教育相談会の開催

夏季休業中に教員を対象とした相談会を開催し、指導・支援の進め方等について御相談をお受けします。

◆ サポートセンター研修会の開催

夏季休業中に心理検査や進路指導についての研修会を開催します。

各園・学校にお届けしている要項で詳細を御確認の上、申込用紙でお申込みください。

■ こんな教材作りました！～小学部 修学旅行のしおり～

5月、小学部6年生は修学旅行に行ってきました。その中で、大活躍したのが右の写真の「修学旅行のしおり」です。今回はそのしおりについて御紹介します。



児童と一緒に作り上げていったしおり。その際、大切にしたいポイントが、2点あります。それぞれの児童にとっての「使いやすさ」や「分かりやすさ」という点です。例えば・・・、

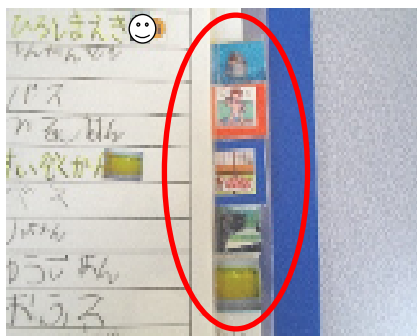
☆ サイズは持ち運びを考えA5にし、ページを後からでも変えられるよう、ルーズリーフバインダーで作成した。ページをラミネートし、手先が器用でない児童でもめくりやすく破れないようにした。

☆ どこにどのページがあるかすぐ分かり、開きやすいようイラストや写真付きのタグを付けた。【写真1】

☆ 全員が同じ内容ではなく、クラスや児童の実態に応じて、必要とするページの内容を変えた。活動の見通しを重視したページや、自分で分かって活動できるよう、やり方や約束を示したページなど。

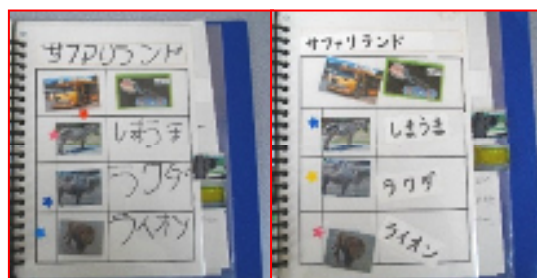
また、項目が同じでも字や写真の大きさ、課題（視写やなぞり書き、シール貼り等）を変えた。【写真2】などです。

当日も自分のしおりで活動をしっかり確認して、どの児童も落ち着いて楽しく活動することができました。そして、修学旅行が終わった今でも、事後学習の教材として大活躍しています。（文責 井手本）



【写真1】

絵や写真のタグ



【写真2】サファリランドのページ
視写（左）とシール貼り（右）

■ 書籍紹介

「発達の扉」上（子どもの発達の道すじ） 下（障害児の保育・教育・子育て） かもがわ出版
白石 正久著



子どもの発達の道すじが、わかりやすい言葉で丁寧につづられています。著者の温かい目線で撮られた写真がふんだんに使われていて、その写真を観ることによって言葉の意味がすんなり腑に落ちるようになっています。特に表紙の美しい「指差し」は必見です。発達を学ぶ人にとっては教科書のような本ですが、子どもに対する信頼を再確認させてくれる本でもあります。

□ 記事に関するお問い合わせ

広島市立広島特別支援学校 〒734-0013 広島市南区出島四丁目1番1号
TEL (082) 250-7101 FAX (082) 250-7102
担当 特別支援教育コーディネーター 林 美香子
EMAIL: yougo-s@e.city.hiroshima.jp

